

2020 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [嶺南学園敦賀気比高等学校附属中学校] 担当教諭名 [天野 京子・羽生 美香] (1-3年縦割り班 15名)
 相手国・地域 [ベラルーシ]
 海外学校名 [Gymnasium No.33, Minsk] 担当教諭名 [Natalya Razdobreeva]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
	総合的な学習の時間	国際交流班	35

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	With COVID-19 ～危機を乗り越えた先の理想の未来の実現のために～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	私たちの願いは、コロナ禍の中であっても世界中の人たちが安全に心穏やかに生活していけることだ。同時に、医療と福祉が全ての人たちに平等に与えられ、世界の国々を以前と同じように自由に行き来できるようになる未来を願う。そんな未来が来ることを信じ自分と大切な人たちを守るために行動していく。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
周りの人たちや自分自身を守るためにしなければならないことについて深く考えることができた。また、医療従事者の方々など、自分たちの生活を守ってくれている人たちへの感謝の念をより育むことができた。また、他国との様々な比較によって自分たちの町についてより深く学ぶことができ、郷土愛を育めた。	仕事の偏りがあったのでそこは均一にすべきであった。生徒たちが主体的に動くための意図的な“しかけ”が必要であったと思う。Zoomでの協働学習の際に言語理解に困難がある生徒のためにもパワーポイントなど視覚的なツールを双方で用意する態勢を整えるべきであった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
中学2、3年生には昨年、一昨年度に参加した生徒がいたため、参加生徒は海外への関心が常に高い状態で学習に参加できた。相手国ベラルーシの学生たちや文化などへの関心はもちろん「コロナウイルス」というテーマのもと感染防止対策などの面で具体的な実体験から相違点を見出し自分たちの国や地域への関心も高まっていった。	海外情勢には以前より関心をもっていたがこのプロジェクトではSDGsとの関連性をより意識しながら生徒指導に携われた。英語を母国語としない海外の生徒との交流を英語で行わせることで生徒の英語への興味関心がより高められると以前よりも感じるようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月	学校・地域・自己紹介の写真やパワーポイントを作成し、フォーラムにアップした。それを元に、質疑応答をフォーラム上で行った。	日本文化に関心を寄せていることがわかる自己紹介フリップで、相手国の生徒に親近感を感じていた。コロナウイルス感染予防策には類似点が多いことを発見していた。	総合5
共有 テーマ学習	9月	自分たちが掲げた SDGs の2つの目標を元に、コロナウイルスと世界の未来における関係性や予防策などについてフォーラムで考えを共有した。お互いの調べ学習を Zoom で共有し相違点を比べた。	Zoom での協働学習では接続不良もあって、日本側の簡単な自己紹介と用意したパワーポイントを発表するだけとなり少し残念な様子であった。その後ベラルーシから送られてきたパワーポイントで調べ学習において知り得たことの理解を深めていた。	総合5
融合 メッセージ作成	11月	デザイン案を出し合いベラルーシに提案をした。互いのデザイン案を比べ日本側のデザイン案について詳しく説明し、日本側のデザイン案で壁画の制作を進めることとなった。	SDGs が未来で達成される様子を具体的に示すデザインを相手国に説明するためにより深く調べ学習ができ、自分たちの世界に向けてのメッセージについて深い理解ができていた。	総合5
創造 壁画制作	12月	デザイン案を元に、自分たちのメッセージがより明確に伝わるようにするために、色や構図などに創意工夫をして下絵から色塗りまでを仕上げた。	日本の魅力と作品に込めた思いを絵で伝えるために色彩や構図を工夫した。その中で協力して作品を仕上げる事の大切さや自分たちの思いを伝えることの重要性にも気づけていた。	総合10
評価 振り返り 自己評価	2月	校内での成果発表会を行うための資料作りをし、それを元に発表を行い、活動の振り返りと今後の課題について発表をした。	英語を使って思いや考えを伝えることには難色を示していた。フォーラムを使ってコミュニケーションを図ろうとした。壁画は作成途中ではあるが、これまで学習し行動したことに達成感を感じながら壁画の早期完成を願っている言動が多くの子から見られた。	総合10

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてついった 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	相手国のコロナウイルス感染防止を知る中で、自分たちの地域と海外との比較が自然にできていた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	調べ学習での疑問やそれに伴う探求心はあったが、それを掘り下げて調べ続ける姿はあまり見られなかった。
主体的に考え行動する力	4	初めは一部の生徒が主体的に行動するに留まったが、考えを深め壁画制作を進めていく中で自発的に行動しようとする姿が見られた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	英語での意思疎通やフォーラムや Zoom でのやり取りでは英語を用いて伝えようと努力していた。また、相手の意見を尊重した上で自身の考えを伝えようとしていた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	SDGs で達成したい目標をデザインし描いた絵から、コロナウイルスと共存する未来の中でも充実し安定した医療の中で安心してお互いの住む地域を行き来できる未来がこの先にあるというメッセージを感じることができた。